

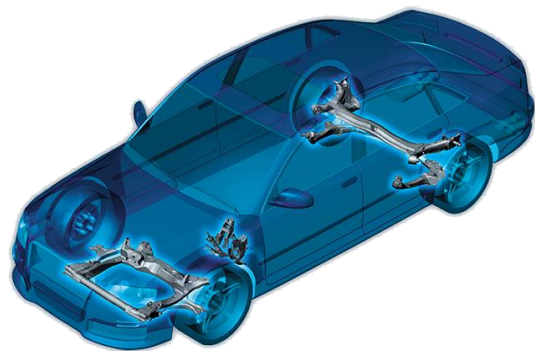
2024年3月期期末 決算説明資料

Fiscal Year Ending March, 2024
Financial Results

2024年5月15日
株式会社エフテック
証券コード：7212



「エフテック」で検索
<https://www.ftech.co.jp>



1

決算概要

Financial Summary

2

業績予想

Earnings Forecast

3

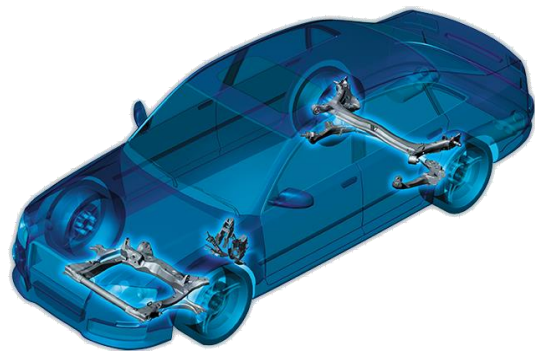
経営戦略

Management Strategy

4

トピックス

Topics



1

決算概要

Financial Summary

2

業績予想

Earnings Forecast

3

経営戦略

Management Strategy

4

トピックス

Topics

連結決算概要（前年同期比）

(単位：百万円)

	2023年3月期 実績		2024年3月期 実績		増減	
売上高	261,156	100.0%	298,759	100.0%	37,603	14.4%
営業利益	2,038	0.8%	3,708	1.2%	1,669	81.9%
経常利益	1,921	0.7%	3,001	1.0%	1,080	56.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,734	0.7%	1,683	0.6%	▲51	▲2.9%
1株利益(円)	93.30	—	90.62	—	▲2.68	—

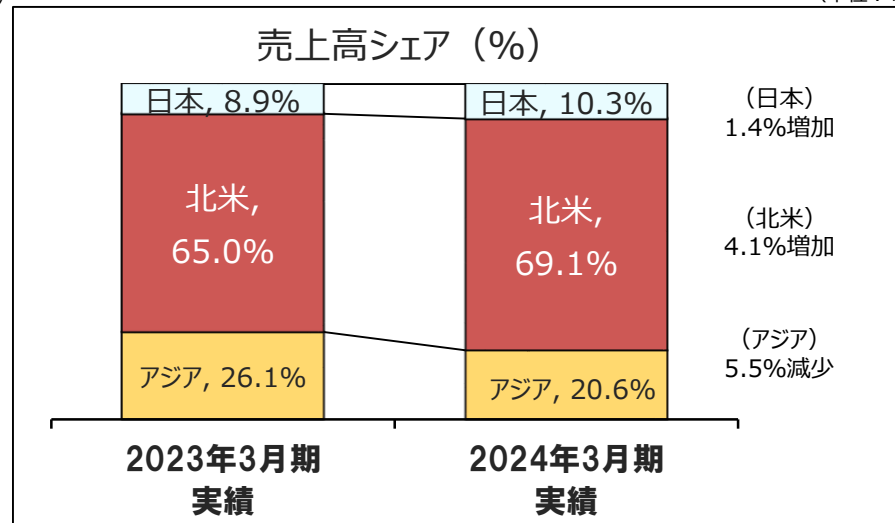
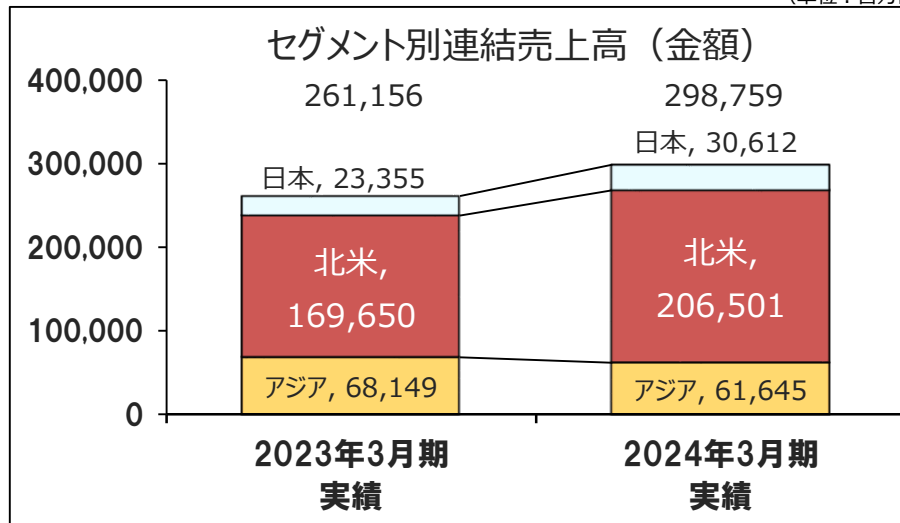
	2023年3月期 実績	2024年3月期 実績	増減
1 US\$	136.00円	145.32円	9.32円
1 CAN\$	102.49円	107.65円	5.16円
1 人民元	19.49円	19.88円	0.39円

売上高、営業、経常利益は増加するも親会社株主に帰属する当期利益は前年同期比減少
為替水準は円安が進行

連結売上高（前年同期比）

(単位：百万円)

(単位：%)



連結売上高増減

	2023年3月期	2024年3月期	増減	増減率	為替影響	実質増減	増減率
日本	23,355	30,612	7,256	31.1%	—	7,256	31.1%
北米	169,650	206,501	36,851	21.7%	11,952	24,899	14.7%
アジア	68,149	61,645	▲6,504	▲9.5%	1,981	▲8,485	▲12.5%
連結	261,156	298,759	37,603	14.4%	13,933	23,670	9.1%

日本及び北米で新規受注効果による増収、アジアは中国の急速なEVシフト化により減収

セグメント別営業利益（前年同期比）

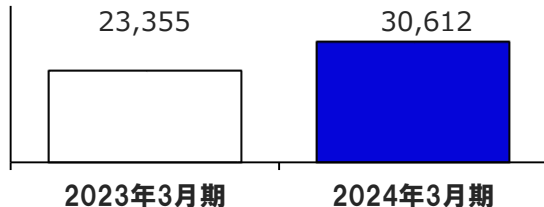
（単位：百万円）

	金額			
	2023年3月期 実績	2024年3月期 実績	増減	増減率(%)
日本	417	1,352	935	224.1%
北米	▲1,040	758	1,799	—
アジア	2,340	1,511	▲828	▲35.4%
合計	1,716	3,622	1,905	111.0%
調整	321	85	▲236	▲73.5%
連結	2,038	3,708	1,669	81.9%

営業利益は81.9%の増益。日本は昨年同期比大幅増益、北米は黒字化
アジアは中国での減産により昨年同期比減益

セグメント別連結業績（日本）

売上高

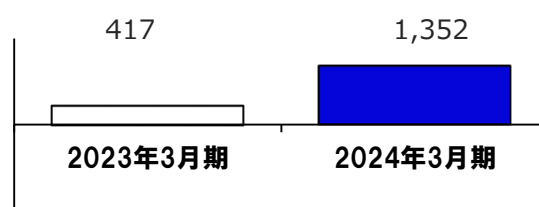


増減額	7,256
増減率	31.1%
為替影響	-
実質増減	7,256
増減率	31.1%

増減理由		
1	新規受注等製品売上増加	6,029
2	商品売上減少（Gr向け金型設備売上）	▲3,813
3	技術収入売上増加（ロイヤリティー、開発費、他）	379
4	国内子会社売上増加	1,075
5	内部消去の減少	3,586
合計		7,256

営業利益

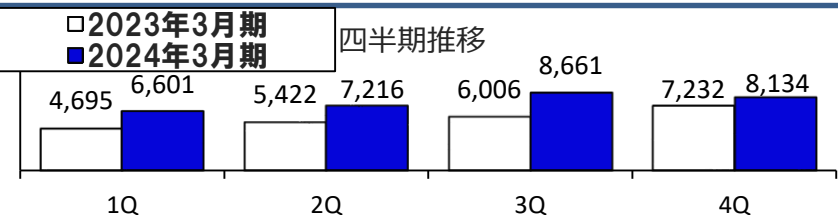
（単位：百万円）



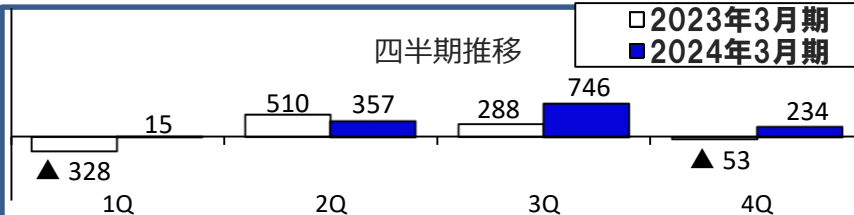
増減額	935
増減率	224.1%
為替影響	-
実質増減	935
増減率	224.1%

増減理由		
1	製品売上増加による増益	1,160
2	商品売上減少による減益	▲841
3	技術収入売上増加による増益	379
4	国内子会社売上増加による増益	237
合計		935

四半期推移



四半期推移

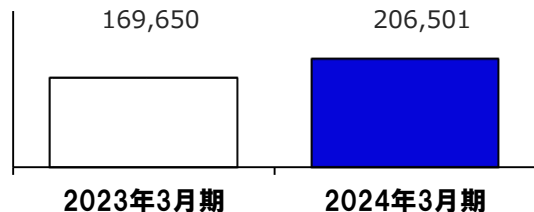


トヨタ向け量産効果や半導体不足解消による増産効果で増収増益

セグメント別連結業績 (北米)

(単位: 百万円)

売上高

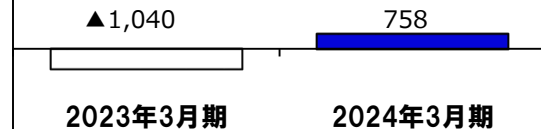


増減額	36,851
増減率	21.7%
為替影響	11,952
実質増減	24,899
実質増減率	14.7%

増減理由

1	製品売上増加(HM +23,928、他 +1,499)	25,427
2	商品売上減少	▲528
3	為替換算影響	11,952
	合計	36,851

営業利益

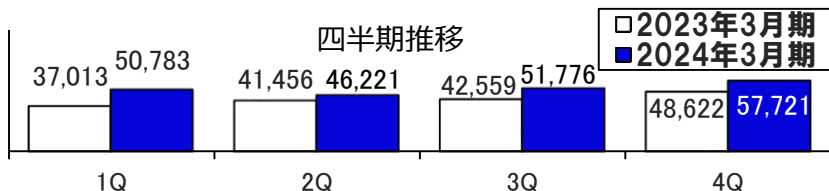


増減額	1,799
増減率	-
為替影響	46
実質増減	1,753
実質増減率	-

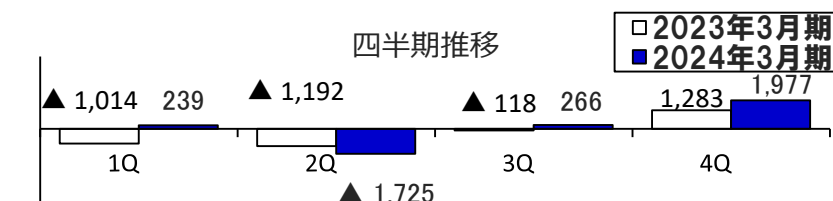
増減理由

1	製品売上増加による増益	3,690
2	労働需給逼迫による労務コスト増	▲1,574
3	商品売上減少による減益	▲363
4	為替換算影響	46
	合計	1,799

四半期推移



四半期推移

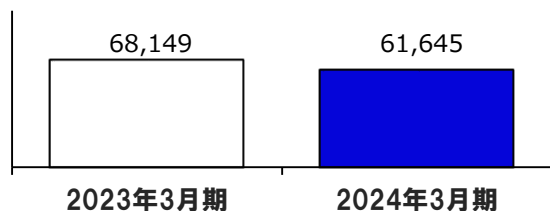


新規受注と半導体不足解消による量産効果で増収増益

セグメント別連結業績 (アジア)

(単位: 百万円)

売上高

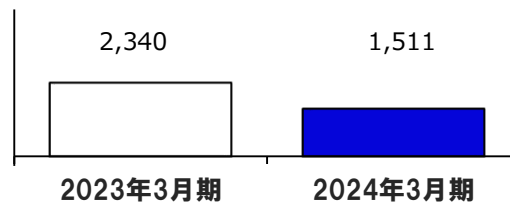


増減額	▲6,504
増減率	▲9.5%
為替影響	1,981
実質増減	▲8,485
増減率	▲12.5%

増減理由

	増減理由	
1	(中国) 製品売上減少	▲10,023
2	(ア大) 製品売上増加	1,538
3	為替換算影響	1,981
	合計	▲6,504

営業利益

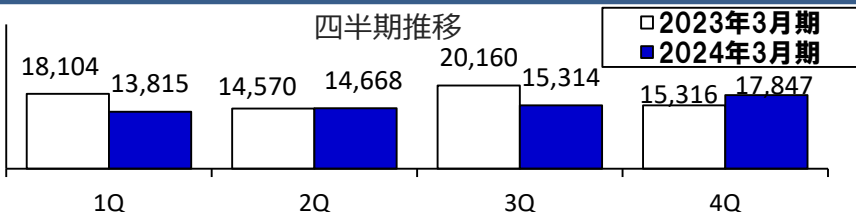


増減額	▲828
増減率	▲35.4%
為替影響	85
実質増減	▲913
増減率	▲39.0%

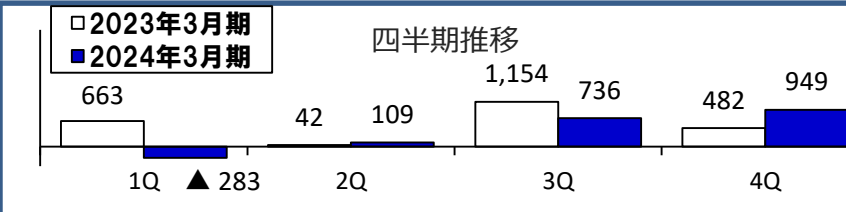
増減理由

	増減理由	
1	(中国) 製品売上減少による減益	▲1,448
2	(ア大) 製品売上増加による増益	535
3	為替換算影響	85
	合計	▲828

四半期推移

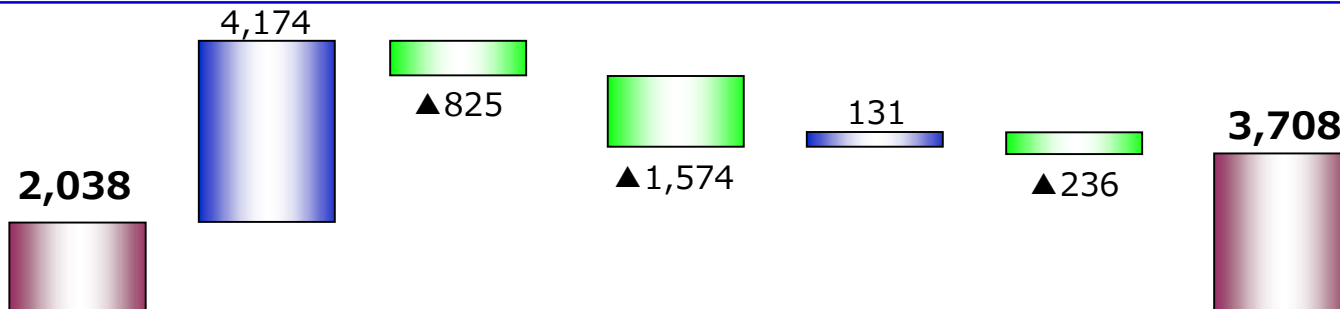


四半期推移

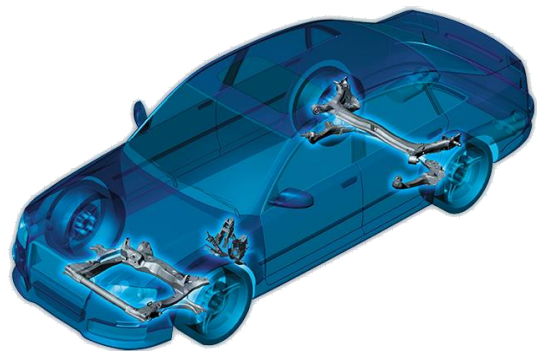


中国地域において急速なEVシフトが進み減収減益

セグメント別営業利益（2024年3月期 4Q実績）



	2023年 3月期	製品売上 影響	商品 技術収入売上 影響	労務コスト	為替影響	連結調整	2024年 3月期	増減
日本	417	1,397	▲462				1,352	935
北米	▲1,040	3,690	▲363	▲1,574	46		758	1,799
アジア	2,340	▲913			85		1,511	▲828
調整	321					▲236	85	▲236
連結	2,038	4,174	▲825	▲1,574	131	▲236	3,708	1,669



1

決算概要

Financial Summary

2

業績予想

Earnings Forecast

3

経営戦略

Management Strategy

4

トピックス

Topics

連結業績予想（2025年3月期予想）

(単位：百万円)

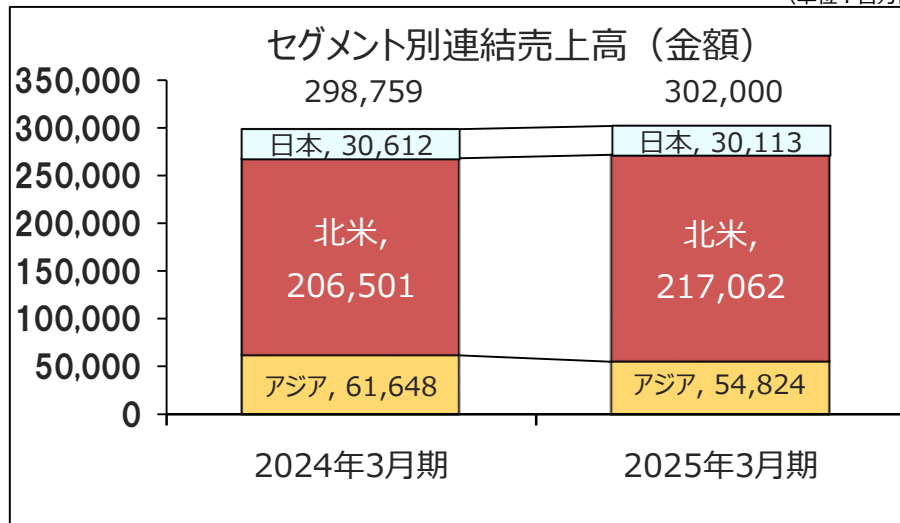
	2024年3月期 実績		2025年3月期 予想		増減	
売上高	298,759	100.0%	302,000	100.0%	3,241	1.1%
営業利益	3,708	1.2%	4,700	1.6%	992	26.8%
経常利益	3,001	1.0%	2,500	0.8%	▲501	▲16.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,683	0.6%	600	0.2%	▲1,083	▲64.3%
1株利益(円)	90.62	—	32.31	—	▲58.31	—

	2024年3月期 実績	2025年3月期 予想	増減
1 US\$	145.32円	145.00円	▲0.32円
1 CAN\$	107.65円	110.00円	+2.35円
1 人民元	19.87円	20.50円	+0.63円

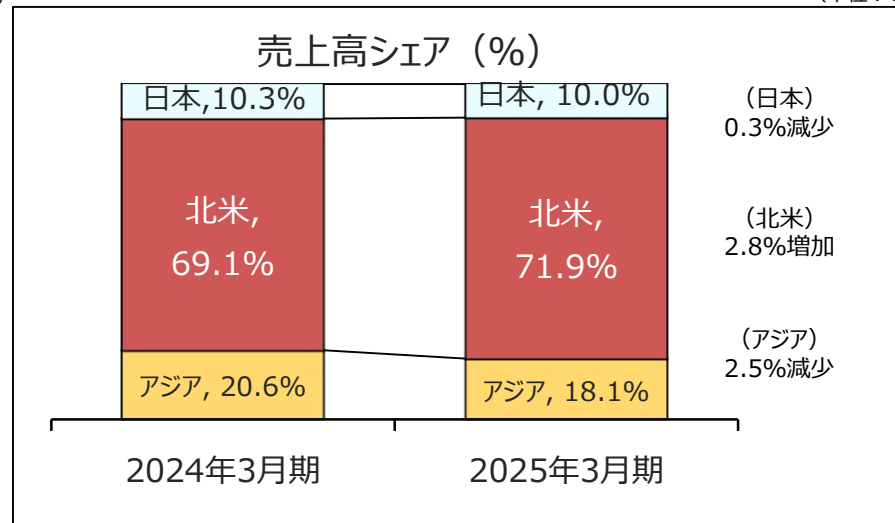
売上高・営業利益は増加するも、経常利益以下は前年同期比減少

連結売上高（前年同期比）

(単位：百万円)



(単位：%)



連結売上高増減

	2024年3月期	2025年3月期	増減	増減率	為替影響	実質増減	増減率
日本	30,612	30,113	▲499	▲1.6%	—	▲499	▲1.6%
北米	206,501	217,062	10,561	5.1%	2,973	7,588	3.7%
アジア	61,645	54,824	▲6,821	▲11.1%	995	▲7,816	▲12.7%
連結	298,759	302,000	3,241	1.1%	3,968	▲727	▲0.2%

為替の影響による増収も、実質増減では減収

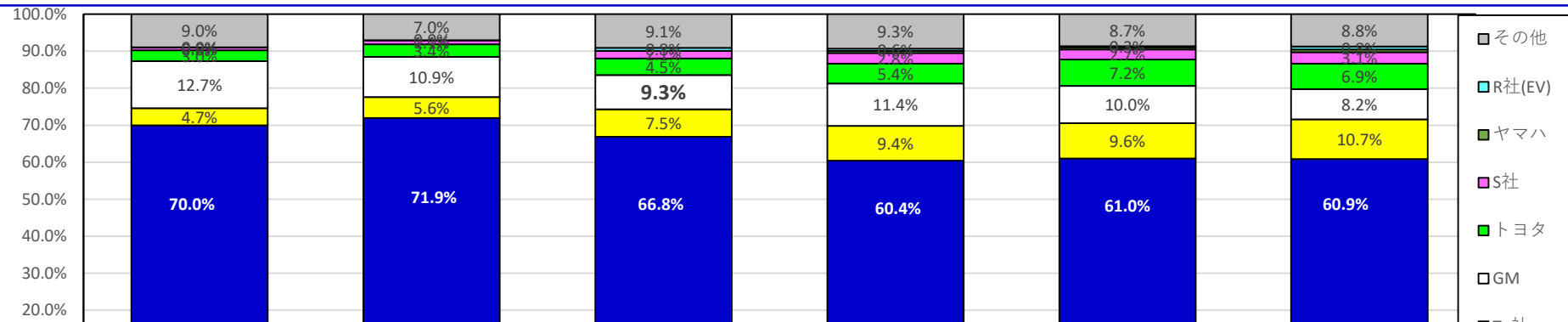
セグメント別営業利益（前年同期比）

（単位：百万円）

	金額			
	2024年 3月期 実績	2025年 3月期 予想	増減	増減率 (%)
日本	1,352	488	▲864	▲63.9%
北米	758	3,322	2,564	338.3%
アジア	1,511	838	▲673	▲44.5%
合計	3,622	4,648	1,026	28.3%
調整	85	52	▲33	▲38.8%
連結	3,708	4,700	992	26.8%

営業利益が47億円と前期実績比9.9億円の増益
北米は営業利益33.2億円と前期実績比25.6億円の増益。日本、アジアは減益

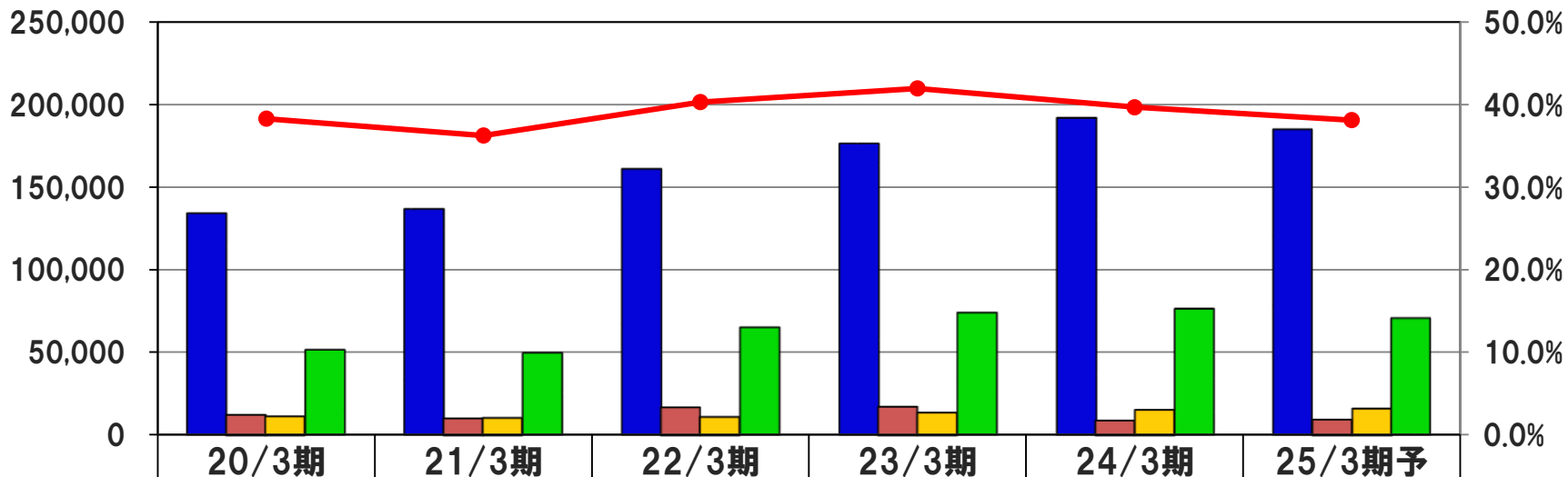
得意先別売上高の推移



	20/3期	21/3期	22/3期	23/3期	24/3期	25/3期 予想
ホンダ	153,004	132,123	128,269	157,846	182,244	183,856
Te社	10,211	10,374	14,317	24,549	28,590	32,242
GM	27,719	20,051	17,791	29,900	29,954	24,782
トヨタ	6,471	6,178	8,563	14,033	21,440	20,854
S社	1,686	2,066	4,002	7,369	8,097	9,336
ヤマハ	5	2	18	1,607	1,768	2,222
R社(EV)	0	3	1,526	1,500	808	2,279
その他	19,616	12,848	17,406	24,351	25,860	26,428
	218,712	183,647	191,892	261,156	298,759	302,000

(単位：百万円)

■ 総資産 ■ 設備投資 ■ 減価償却費 ■ 有利子負債 ● 有利子負債依存度

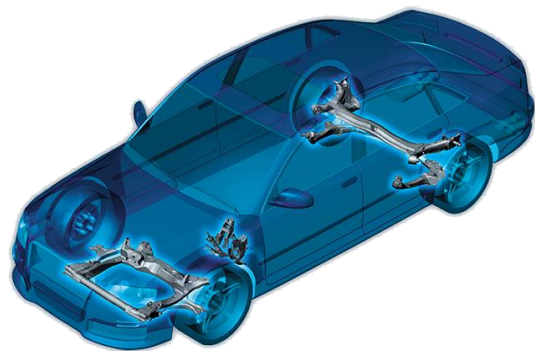


	20/3期	21/3期	22/3期	23/3期	24/3期	25/3期予
総資産	134,038	136,714	160,931	176,137	191,772	184,911
設備投資	12,238	10,010	16,651	16,907	8,809	9,314
減価償却費	10,890	10,032	10,581	13,112	14,559	15,327
有利子負債	51,342	49,565	64,867	73,925	76,064	70,502
有利子負債依存度	38.3%	36.3%	40.3%	42.0%	39.7%	38.1%

	1Q末	2Q末	3Q末	期末	合計	配当性向
2023年3月期配当実績（前回）		10円00銭		10円00銭	20円00銭	21.4%
2024年3月期配当予定（今回）		10円00銭		10円00銭	20円00銭	22.1%
前回差		0円00銭		0円00銭	0円00銭	—
2025年3月期配当予想（翌期）	-	10円00銭	-	10円00銭	20円00銭	61.9%
前回差	-	0円00銭	-	0円00銭	0円00銭	—

配当方針

当社の利益配分に関する基本方針は、業績に基づく利益還元を基本としています。
株主の皆様への還元を重要視しており、財務体質の強化を図りながら利益の状況、将来の事業展開など長期的な視野に立って皆様への利益還元を図ってまいります。



1

決算概要

Financial Summary

2

業績予想

Earnings Forecast

3

経営戦略

Management Strategy

4

トピックス

Topics

成長

全社
方針

稼ぐ力を向上させ持続的に成長し社会に貢献する

第16次中期経営計画

(FY26-FY28)

到達目標:

営業利益率 5%

Challenge for New

● 戦略的な成長ビジネス機会の追求

- 戦略的な営業活動による付加価値拡大
- EV商権の拡大
- 開発効率の最大化
- 新技術の確立

● サステナビリティ経営の構築

- ESG経営への取り組み強化
- カーボンニュートラルの実現へ向けた推進
- ステークホルダーからの評価向上

稼ぐ

Back to Basics

借入金の削減

● 稼ぐ力の強化

- 課題拠点へのエフテック一体サポート展開
- 競争優位性の強化による収益向上
- 従業員エンゲージメントの向上
- エフテックファミリーで活躍できる人財の育成

● 財務体質の健全化

- 14中計投資による成果の創出
- 投資の抑制
- 収支モニタリング体制の強化

成長投資

モノづくりの
本質追求

稼ぐ力

アメリカ

- プレス
- 溶接
- 塗装
- 品質管理
- 生産管理

2023年度の対応策

エキスパートを投入し、
各種改善および指導を実施

- ・要員配置の見直し
- ・溶接設備仕様の改善
- ・作業手順の改善、再教育
- ・部品レイアウト変更
- ・消耗品管理基準の見直し
- ・輸送梱包荷姿の改善
- ・監督者の指導力向上 など

2024年度の対応策

前年比+20%のエキスパート
投入により各領域のステップUP

- プレス領域支援**
プレス機オペレーター通期支援
金型メンテ支援
- 溶接領域支援**
ライン効率改善・加修作業サポート
仕損費削減
- 塗装領域支援**
スクラップコスト削減
- Assy領域支援**
ライン効率・自動化UP
スクラップコスト削減

Out Put/Target

- <主要改善効果>
- ・生産効率15%以上向上
 - ・要員削減35%以上

延べ50名の支援部隊を延べ60日相当派遣

- 一体サポート
- 日本
- メキシコ
- カナダ
- 中国



<2024年度の重点実施展開>

- ・技術支援者不在の試行期間を設け、“効率/品質向上”に対する指導内容励行を促進
- ・“改善→指導→効果の確認” PDCAサイクルを繰り返すことで、改善意識の定着を図る

24年度以降も支援継続

拠点の状況

DYNA-MIG, A Division of F&P Mfg., Inc.

- ・各種改善施策の実施により、生産ラインの要員削減を達成

<2023年度実績>
22年比 ▲29名
概算効果 約2億円

※為替レート 1カナダドル108円で算出

カナダ

拠点の位置付け(稼ぐ力の強化)

- ・各種改善施策の要員削減効果は実証済
- ・グループ拠点でこれら改善施策の共有化を目指す

2024年度以降の効果

要員数は維持しつつ、売上高、営業利益は安定して推移

売上高見込：約320億円 ※1
営業利益：21年比(改善前)
10億円増

※1 1ドル145円、1カナダドル=110円で算出

メキシコ

自動車メーカー3社4車種の受注に伴い2022年度以降、建屋拡張、設備増強など、約1億米ドルの投資を実施。現在、安定量産中

<2023年度実績>
売上高 約370億円
営業利益率 約8.6%

※為替レート 1ドル145円で算出

- ・グループ内で収益確保の主要拠点に成長

<メキシコ拠点車種数>

EV：3車種

ICE：4車種 ※2

※2 ICE: Internal Combustion Engine

新規受注車種の量産が安定し、売上高、営業利益ともに安定した水準を維持

売上高見込：約400億円 ※1
21年比(受注前)310億円増

北米地域全体の稼ぐ力を底上げし、安定的に収益を確保

利益構造の変化	環境変化	取り組み
<p>22年度は北米エリアの赤字を中国エリアがカバーしていたが、23年度は中国エリアの減益を北米エリアがカバー</p> <p>地域別利益比率</p> <p>【2022年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ア大34% 北米▲77% 中国136% 日本7% <p>【2023年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ア大31% 日本31% 北米32% 中国6% <p>主にメキシコ</p>	<p>アメリカ</p> <ul style="list-style-type: none"> 人材の定着・確保が困難 →生産効率低下、改善遅れ OEM量産立上げ遅れによる減産 →売上減少 新規立上げ対応コストの増加 <p>カナダ</p> <ul style="list-style-type: none"> 米系OEM減産による売上減少 ホンダ生産台数は安定 UAW賃上げ交渉の影響 <p>中国</p> <ul style="list-style-type: none"> 日系OEMの大幅減産 中国OEMの台頭 中国経済の減速 	<p>取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> 派遣会社の変更及び教育の強化 日本及び他拠点からの支援者を増員し、効率改善、省人化、品質の高位平準化を推進中 <p>効率改善、省人化、内製取入れの取り組みは順調に推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 賃上げの対応及び従業員とのコミュニケーション強化 <p>売上減少を前提とした対抗策実践</p> <ul style="list-style-type: none"> 売上高に合わせた労務費圧縮 プレス部品内製化⇒付加価値増強 サービスパーツ集約 <p>生産効率向上、コスト大幅削減</p>

※進捗：15中計と単年度実績の比較

アメリカ・中国の課題解決に向け日本と連携を強化し施策推進中

成長

全社
方針

稼ぐ力を向上させ持続的に成長し社会に貢献する

第16次中期経営計画

(FY26-FY28)

到達目標:

営業利益率 5%

Challenge for New

● 戦略的な成長ビジネス機会の追求

- 戦略的な営業活動による付加価値拡大
- EV商権の拡大
- 開発効率の最大化
- 新技術の確立

● サステナビリティ経営の構築

- ESG経営への取り組み強化
- カーボンニュートラルの実現へ向けた推進
- ステークホルダーからの評価向上

稼ぐ

Back to Basics

借入金の削減

● 稼ぐ力の強化

- 課題拠点へのエフテック一体サポート展開
- 競争優位性の強化による収益向上
- 従業員エンゲージメントの向上
- エフテックファミリーで活躍できる人財の育成

● 財務体質の健全化

- 14中計投資による成果の創出
- 投資の抑制
- 収支モニタリング体制の強化

成長投資

モノづくりの
本質追求

稼ぐ力

※為替レート1ドル当たり 2022年度：136円 2023年度：145円



F&P MFG DE MEXICO, S.A. DE C.V.

2022年度 約**1**億米ドルの投資

自動車メーカー3社から4車種（3車種EV）の受注に伴い新規設備導入、能力拡充、建物拡張を実施

売上高

約**370**億円

売上高 約**270**億円

+

営業利益 約**16**億円

【稼ぐ力の強化】

生産効率アップ^o、コスト削減、労務費抑制

約**32**億円

2022年度

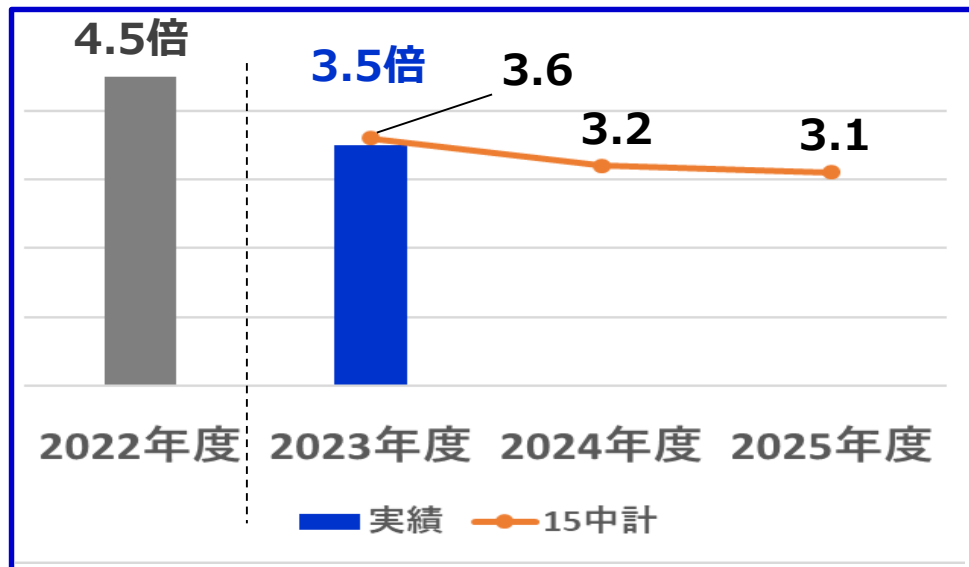
2023年度

投資成果の創出により、エフテックグループ第一の成長拠点へ

現預金：12,204百万円 有利子負債：76,064百万円 ⇒ Net Debt:63,860百万円

営業利益：3,708百万円 減価償却費：14,559百万円 ⇒ EBITDA:18,267百万円

Net Debt/EBITDA倍率



取り組み

■ 投資額のコントロール

一般投資、新機種投資事案ごとに多面評価を実施し、グループ全体の減価償却費以内に投資額を抑制

■ 収支モニタリング体制の強化

毎月拠点経営会議に本社も参画し、収支、投資、資金繰状況を本社と共有。課題解決に向けたアクションを迅速に実行

※Net Debt/EBITDA倍率 = (有利子負債から現預金を控除) ÷ (営業利益 + 減価償却費)

Net Debt/EBITDA倍率の初年度目標達成。更なる財務体質の健全化に向け推進中

成長

全社
方針

稼ぐ力を向上させ持続的に成長し社会に貢献する

第16次中期経営計画

(FY26-FY28)

到達目標:

営業利益率 5%

Challenge for New

● 戦略的な成長ビジネス機会の追求

- 戦略的な営業活動による付加価値拡大
- EV商権の拡大
- 開発効率の最大化
- 新技術の確立

● サステナビリティ経営の構築

- ESG経営への取り組み強化
- カーボンニュートラルの実現へ向けた推進
- ステークホルダーからの評価向上

稼ぐ

Back to Basics

借入金の削減

● 稼ぐ力の強化

- 課題拠点へのエフテック一体サポート展開
- 競争優位性の強化による収益向上
- 従業員エンゲージメントの向上
- エフテックファミリーで活躍できる人財の育成

● 財務体質の健全化

- 14中計投資による成果の創出
- 投資の抑制
- 収支モニタリング体制の強化

成長投資

モノづくりの
本質追求

稼ぐ力

北米営業拠点 F-TECH NORTH AMERICAの設立効果もあり、**6社14車種の受注**に繋がった。
2024年も引き続き、**既存メーカー、EVメーカーなど、多面的な受注活動**を展開していく。

<2023年度生産開始の車種（一部のみ表記）>



LEXUS LBX向け製品 生産開始
年間計画 1万台



SUZUKI SWIFT向け製品 生産開始
年間計画 12万台



米系EVメーカー向け製品 生産開始
年間計画 12万台



GM BEV向け製品 生産開始
Chevrolet Blazer EV
Chevrolet Equinox EV
年間計画 13万台

成長

全社
方針

稼ぐ力を向上させ持続的に成長し社会に貢献する

第16次中期経営計画

(FY26-FY28)

到達目標:

営業利益率 5%

Challenge for New

● 戦略的な成長ビジネス機会の追求

- 戦略的な営業活動による付加価値拡大
- EV商権の拡大
- 開発効率の最大化
- 新技術の確立

● サステナビリティ経営の構築

- ESG経営への取り組み強化
- カーボンニュートラルの実現へ向けた推進
- ステークホルダーからの評価向上

稼ぐ

Back to Basics

借入金の削減

● 稼ぐ力の強化

- 課題拠点へのエフテック一体サポート展開
- 競争優位性の強化による収益向上
- 従業員エンゲージメントの向上
- エフテックファミリーで活躍できる人財の育成

● 財務体質の健全化

- 14中計投資による成果の創出
- 投資の抑制
- 収支モニタリング体制の強化

成長投資

モノづくりの
本質追求

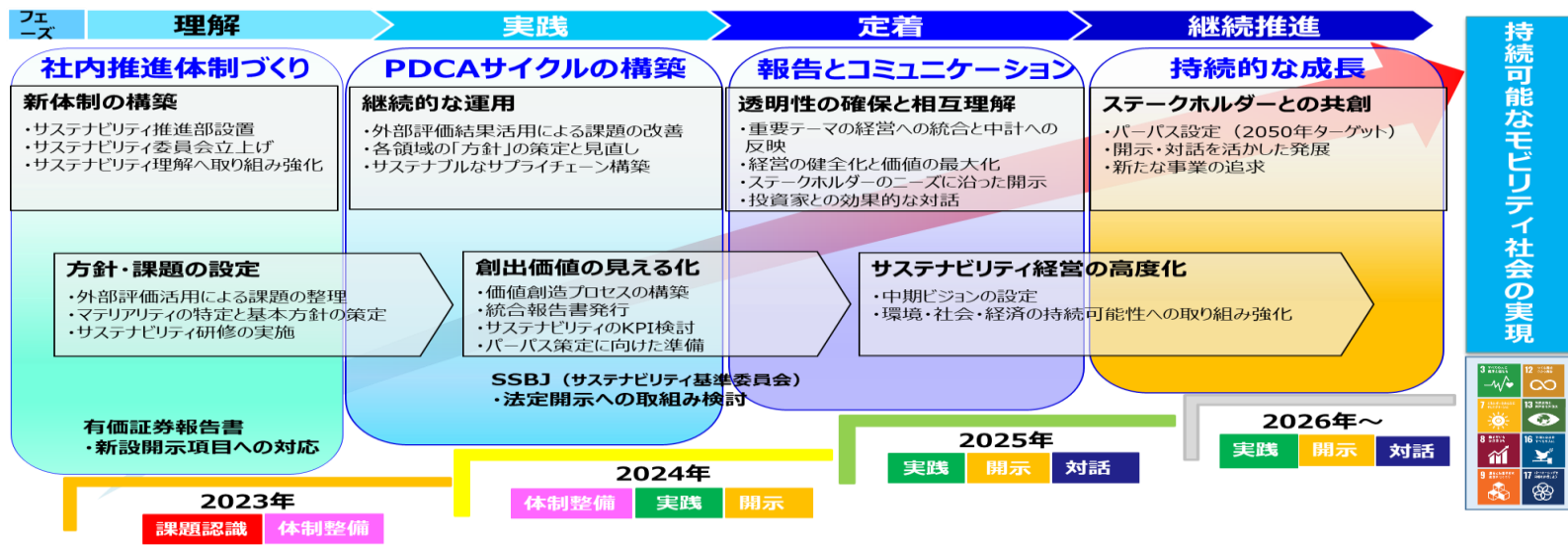
稼ぐ力

- ・2022年12月にカーボンニュートラル戦略委員会、推進チームを立ち上げ、2023年4月にサステナビリティ推進部、サステナビリティ委員会を設置。
- ・2023年12月にサステナビリティ基本方針とロードマップを策定

基本方針

わたしたちは、社是、理念、行動指針のもと、持続可能なモビリティ社会の実現に向けた事業活動を通じ、地球的課題の解決に真摯に取り組み企業価値の向上を目指していきます

ロードマップ



推進体制・基本方針の整備を行い、計画を着実に推進中

15中計：サステナビリティ経営の構築 ～マテリアリティとKPI～

No.	マテリアリティ	カテゴリー	目指したい姿	当社の主な取り組み	KPI (2030年)	SDGsとの関連
1	カーボンニュートラルへの対応	環境 (E)	低炭素で高効率な生産体制の構築と環境に配慮した製品開発	<ul style="list-style-type: none"> EV製品など顧客ニーズに対応した製品の設計開発 環境負荷物質の低減 LCAによる製品評価 第三者検証の実施 再生可能エネルギーの利用拡大 	<ul style="list-style-type: none"> 2035年 製造領域Scope 1/2カーボンニュートラル達成 2050年 サプライチェーン全体でのカーボンニュートラルの達成 	
2	環境に配慮した製品開発					
3	人権の尊重	社会 (S)	事業基盤を一層強化し、従業員が快適に働き、全ての人へ安心・安全な未来を	<ul style="list-style-type: none"> 多様性を尊重する企業文化の醸成 従業員のエンゲージメント強化・向上 労働安全法制の遵守継続 お客様満足度の向上 	<ul style="list-style-type: none"> 人権研修 従業員100%受講 休業災害 0件達成 重大品質不具合 0件達成 	
4	安全・衛生的な労働環境					
5	高品質製品の提供					
6	コンプライアンス	企業統治 (G)	中長期的な企業価値の向上に向けた企業基盤の拡充	<ul style="list-style-type: none"> コンプライアンス教育の拡充 CSR検証シートの高度化 サプライチェーンマネジメント拡充 	<ul style="list-style-type: none"> コンプライアンス研修 従業員100%受講 法令違反 0件 サプライヤーCSR検証シート100%展開達成 	
7	公正な取引					

※マテリアリティは、情勢に応じて変化するため、定期的な見直しを実施していく

ESG各領域で重要課題を特定し、各項目のKPI達成に向けた取り組みを開始



1

決算概要

Financial Summary

2

業績予想

Earnings Forecast

3

経営戦略

Management Strategy

4

トピックス

Topics

◆SAITAMA環境フェア&こどもエコフェスティバルへ出展しました



2023年11月11日・12日に、埼玉県とイオンモール上尾が主催の「SAITAMA 環境フェア&こどもエコフェスティバル」へブースを出展しました。

ブース内では、当社の環境保全への取り組みを紹介や子ども向けの工作教室を開催し、2日間で合計150名の方々にご参加いただきました。

◆フードドライブの実施



2021年より、埼玉りそな銀行様との共催によりフードドライブを実施中。2023年11月22日に、当社にて、子ども支援団体への合同贈呈式を開催しました。
多くの方に提供いただいた食料品・日用品805点を久喜市内の子ども食堂へ寄付しました。

◆クリーン活動

日本国内の各拠点およびグローバル拠点にて、毎年、地域環境保護を目的とした様々なクリーン活動を実施しています。



地域社会への貢献に向けて、今後も、様々な活動を継続していく

得意先様からの表彰実績（2023年度一覧）

※敬称略



受賞対象		種別	時期	表彰先	表彰内容
日本	グローバル	品質	2023年7月	NISSAN	Nissan Global Supplier Award / Global Quality Award
	亀山	生産技術	2023年4月	文部科学大臣表彰	創意工夫功労者賞「1000tプレス機のR/L混入防止装置の改良」
北米	F&P (カナダ)	品質/供給	2023年4月	ホンダ	Service Parts Award / Delivery & Quality Award
	F&P (カナダ)	品質	2023年6月	General Motors	Supplier Quality Excellence Award 2022
	FPA (アメリカ)	品質	2023年6月	General Motors	Supplier Quality Excellence Award 2022
	FPMX (メキシコ)	品質	2023年6月	General Motors	Supplier Quality Excellence Award 2022
アジア	FTW (中国)	品質/供給	2024年1月	東風ホンダ	二十周年特別賞優秀サプライヤー賞
	FTZ (中国)	供給	2024年1月	广汽ホンダ	供給優良サプライヤー賞
	FMTL (タイ)	品質	2023年7月	NISSAN	Nissan Supplier Meeting Quality Finalist
		品質	2023年12月	TOYOTA DAIHATSU ENGINEERING & MANUFACTURING	Outstanding Performance Supplier in Quality Performance
	FPMI (フィリピン)	感謝状	2024年3月	TOYOTA MOTOR PHILIPPINES	Supplier Delivery Performance Award
	ISS (インド)	品質	2023年6月	DENSO Haryana	Overall Performance Award
		パフォーマンス	2023年6月	DENSO JAPAN	Excellent Performance Award
品質		2023年5月	Shiroki Automotive India	ベストサプライヤー-QCD賞	



ご清聴ありがとうございました

Thank you for your attention!



本資料で記述している将来予測及び業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。

そのため、様々な要因の変化により実際の業績と記述としている将来見通しは、大きく異なる可能性があることを御承知おき下さい。

The future outlook and earnings forecasts in this document are made based on the information available at the moment, and they include potential risks and uncertainties.

As a result, please bear in mind that actual business performance may substantially differ from the stated future forecasts due to changes in various factors.

IR情報のお問い合わせ、取材お申し込みは

For inquiries on IR information, please contact:

株式会社エフテック 管理本部 総務部/経理部

F-TECH INC. Management Planning Division General Affairs Department/Finance and Accounting Department

代表TEL

0480-85-5211

Mail

webmaster@ftech.co.jp



「エフテック」で検索

<https://www.ftech.co.jp>

Appendix

Appendix ~連結貸借対照表（2024年3月期末実績）~

	2024年3月期 実績	2025年3月期 予想	増減
現金及び預金	12,204	7,000	▲ 5,204
受取手形・売掛金	41,596	43,151	1,555
棚卸資産	25,485	28,287	2,802
その他	3,783	3,783	0
流動資産	83,069	82,221	▲ 848
有形固定資産	94,033	88,019	▲ 6,014
無形固定資産	319	319	0
投資その他資産	14,350	14,350	0
固定資産	108,702	102,689	▲ 6,013
総資産	191,772	184,911	▲ 6,861

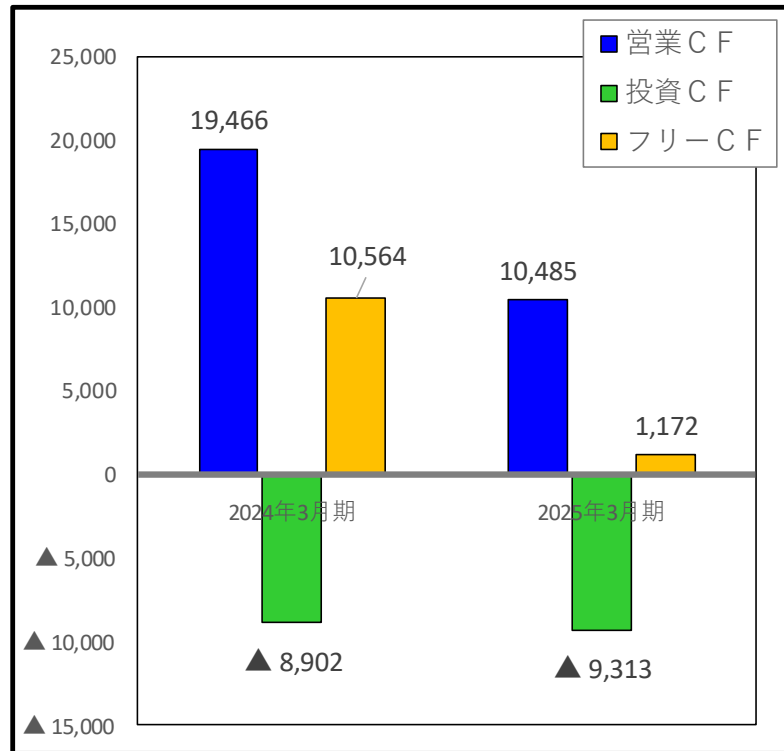
NETDEBT	63,860	63,502	▲ 357
EBITDA	18,267	20,027	1,760
NETDEBT/EBITDA倍率	3.50	3.17	▲ 0.33

	2024年3月期 実績	2025年3月期 予想	増減
支払手形・買掛金	27,902	28,190	288
短期借入金	38,537	36,660	▲ 1,877
1年以内長期借入金	12,782	8,576	▲ 4,206
その他	12,830	12,577	▲ 253
流動負債	92,053	86,004	▲ 6,049
長期借入金	22,043	23,660	1,617
その他	5,932	5,090	▲ 842
固定負債	27,975	28,750	775
負債合計	120,029	114,755	▲ 5,274
株主資本合計	42,404	42,630	226
その他包括利益累計	13,421	12,591	▲ 830
非支配株主持分	15,916	14,934	▲ 982
純資産合計	71,743	70,156	▲ 1,586
負債純資産合計	191,772	184,911	▲ 6,860

Appendix ～連結キャッシュフロー表（2024年3月期末実績）～

(単位：百万円)

	2024年3月期	2025年3月期	増減
	実績	予想	
営業活動キャッシュフロー	19,466	10,485	▲ 8,981
投資活動キャッシュフロー	▲ 8,902	▲ 9,313	▲ 411
財務活動キャッシュフロー	▲ 4,263	▲ 6,513	▲ 2,250
現金及び現金同等物に係わる為替差額	413	136	▲ 277
現金及び現金同等物の増減額	6,712	▲ 5,204	▲ 11,916
現金及び現金同等物の期首残高	5,491	12,204	6,713
現金及び現金同等物の期末残高	12,204	7,000	▲ 5,204

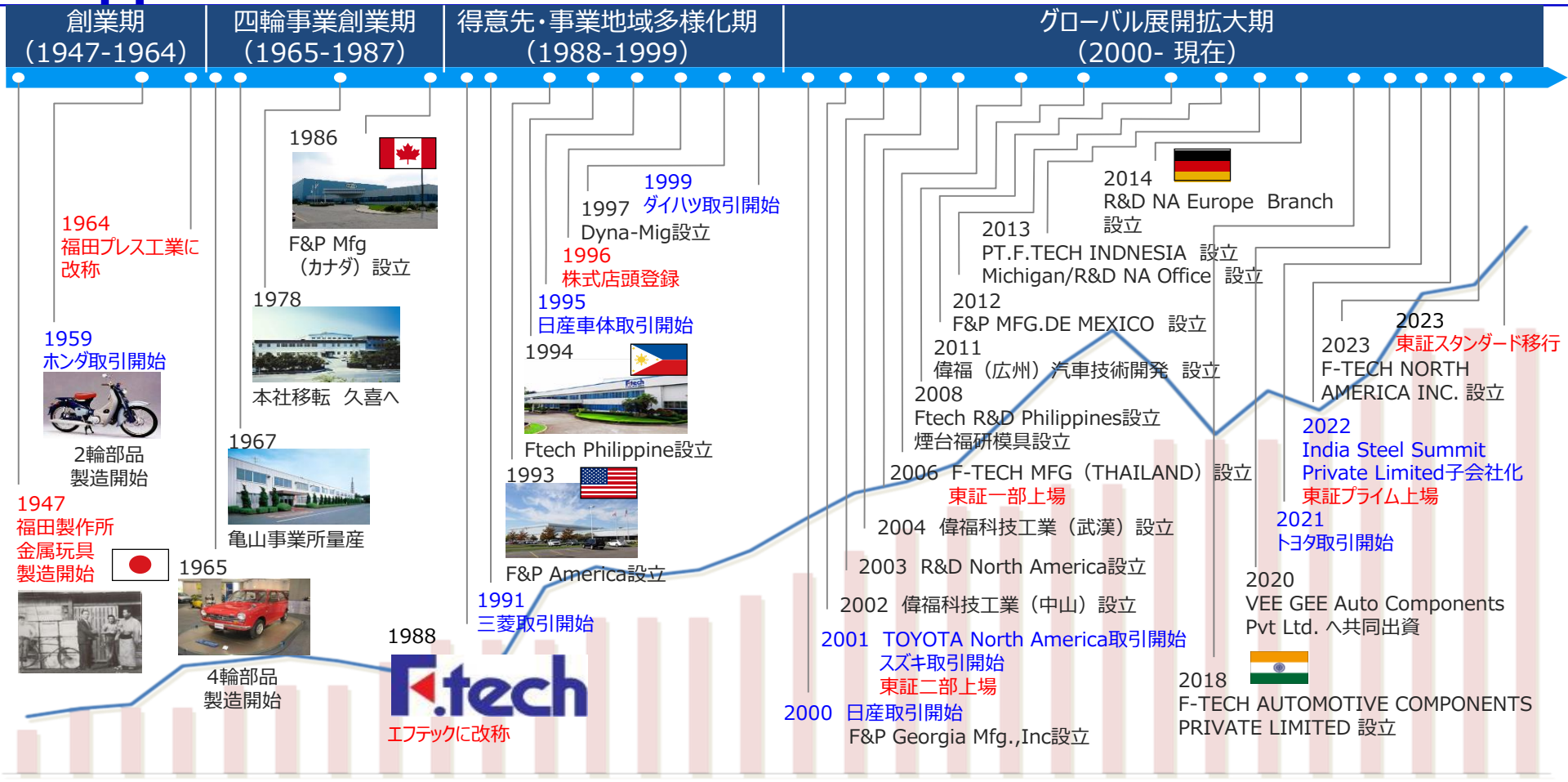


会社名	株式会社エフテック
市場区分	東証スタンダード（7212）
資本金	67.9億円
代表者名	代表取締役社長 福田 祐一
売上高（連結）	2,987億円（2024年3月期）
従業員数（連結）	9,800人（単体：939人） <small>※単体：国内エフテックのみ（子会社、海外駐在員含まず）</small>
設立年月日	1947年7月1日
本社所在地	〒346-0194 埼玉県久喜市菖蒲町昭和沼19番地
主要取引先	本田技研工業株式会社、ゼネラルモーターズ社、トヨタ自動車株式会社、日産自動車株式会社、etc.
主要製品	自動車向け足廻りサスペンションアーム、サブフレーム、アクスルビーム、ペダルコントロール等



2024年3月末現在

Appendix ~沿革~

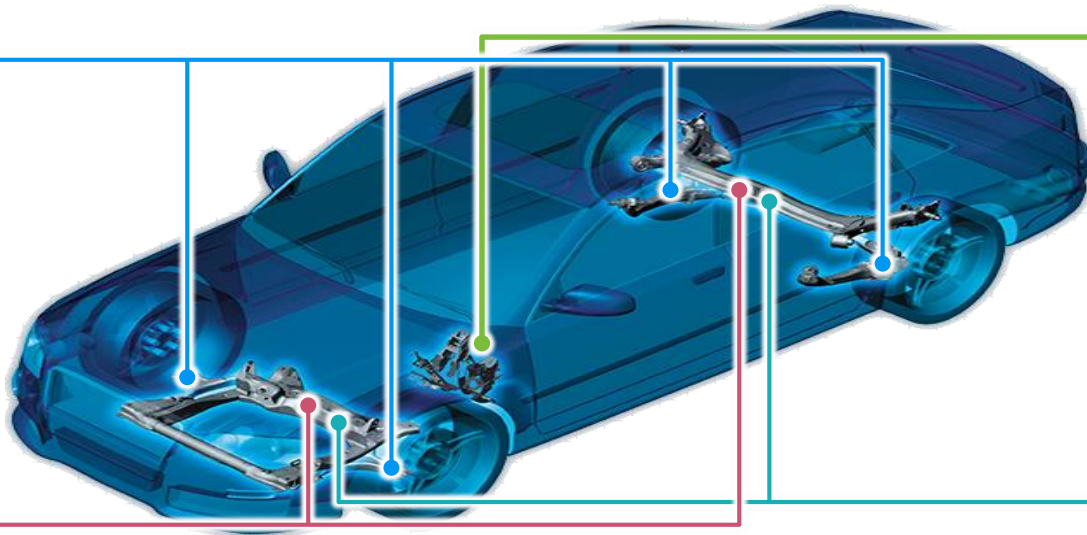




サスペンション
部品



マウント部品



コントロール部品



当社の製品は、「走る」・「曲がる」・「止まる」の基本機能を司る、重要保安部品であり、より高い操縦安定性や乗り心地、衝突時の安全性を考慮した最適仕様を提案します

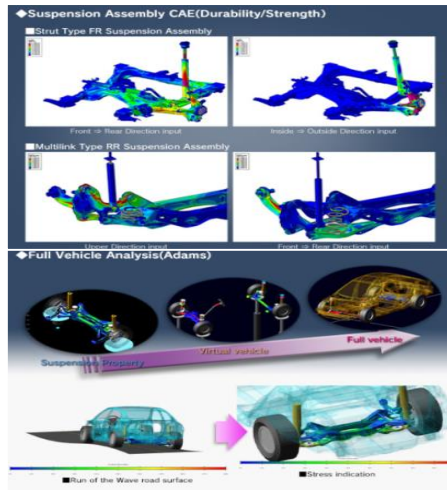
製品開発

塑性成形

接合

塗装

組立



製品の企画開発から量産まで、全工程を独自の一貫加工体制で対応、
圧倒的に競争力の高い製品をスピーディーに提供

●【国内事業所】

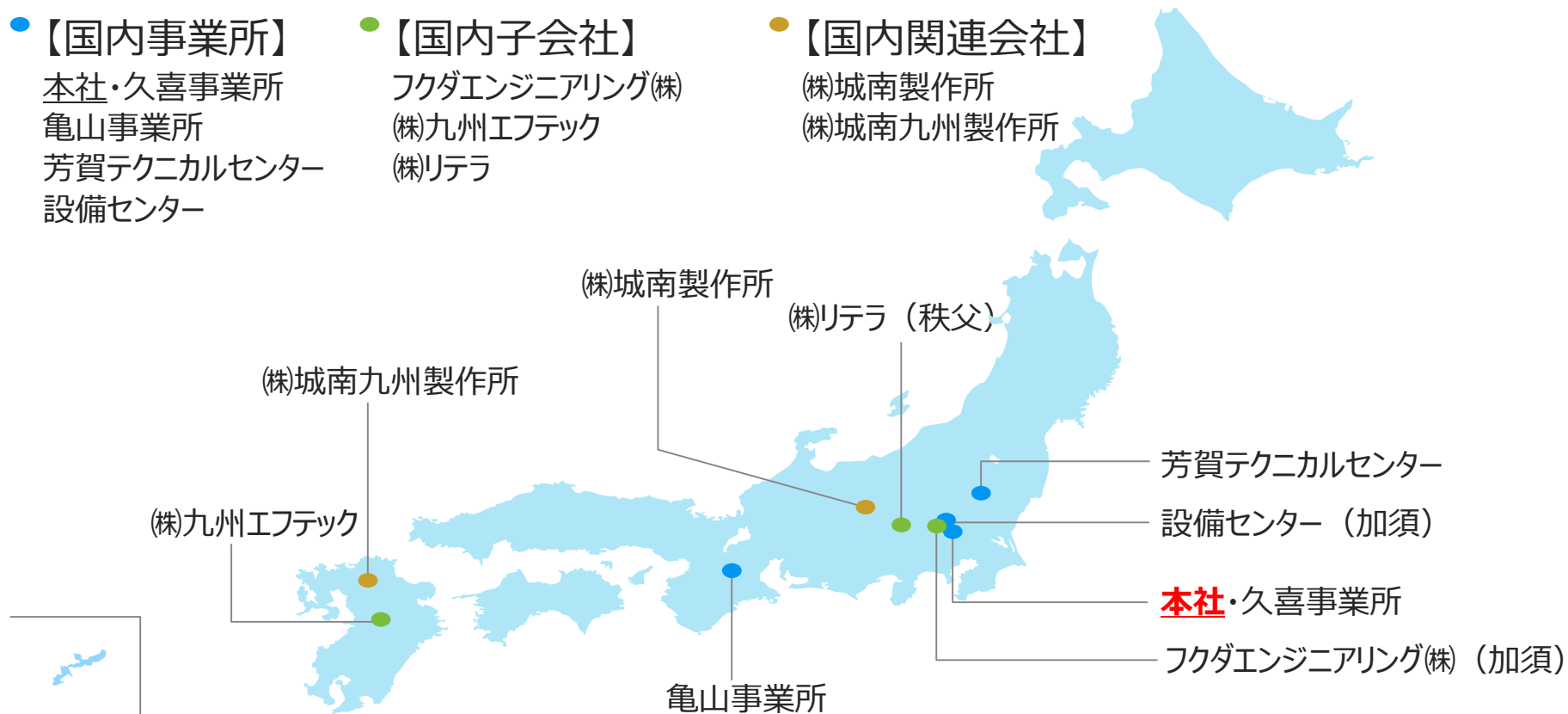
本社・久喜事業所
亀山事業所
芳賀テクニカルセンター
設備センター

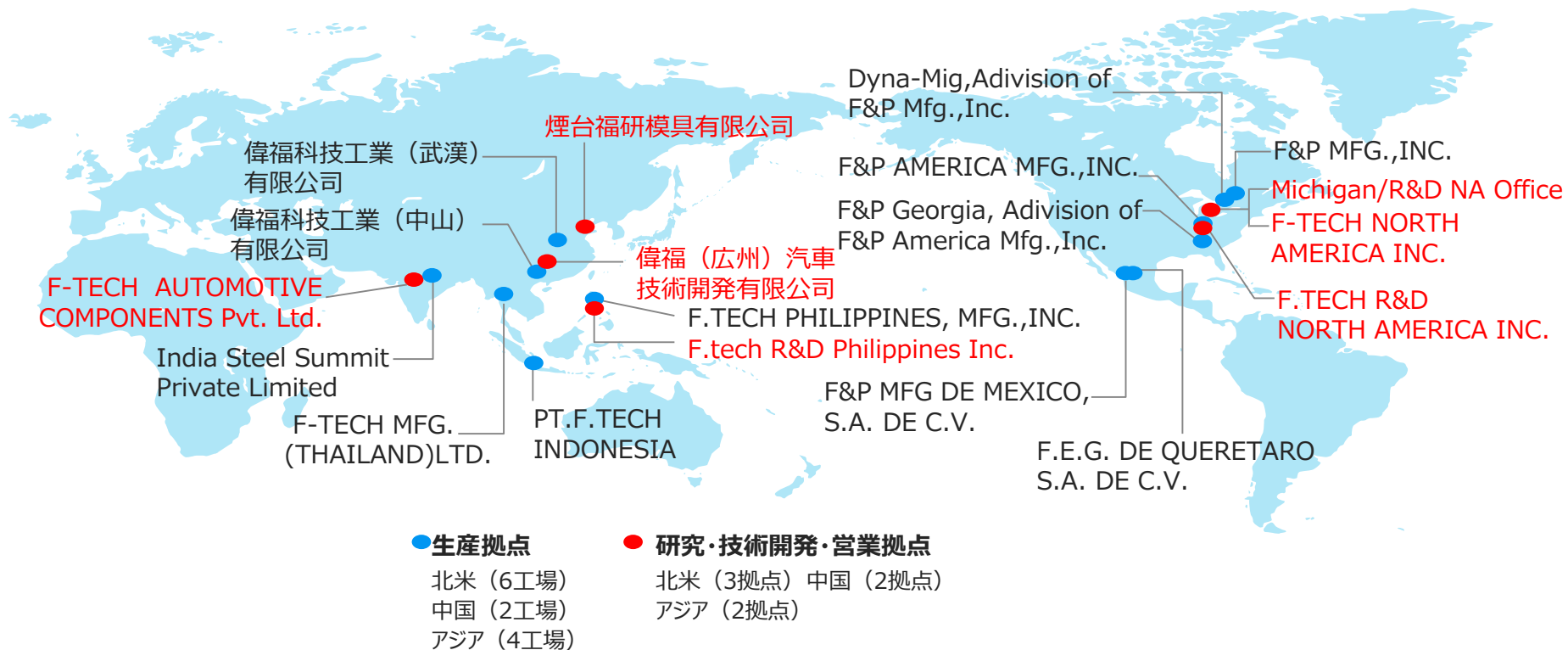
●【国内子会社】

フクダエンジニアリング(株)
(株)九州エフテック
(株)リテラ

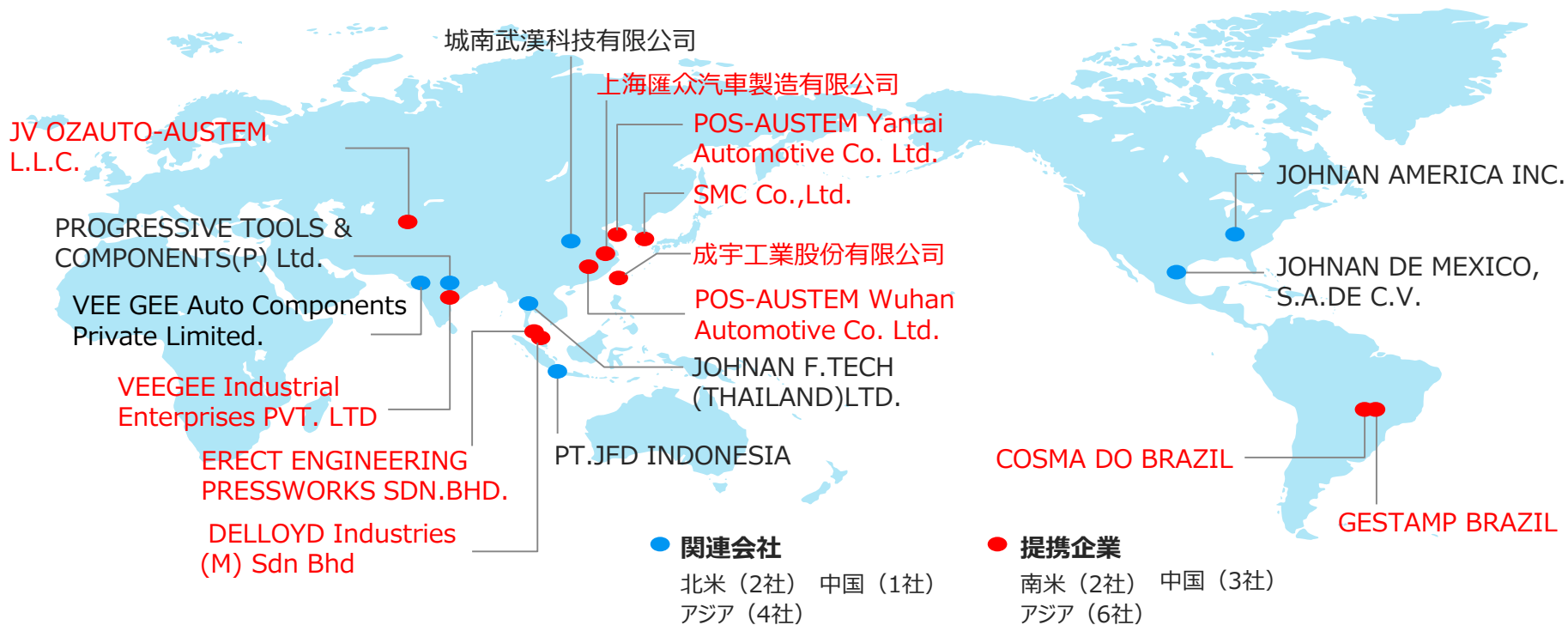
●【国内関連会社】

(株)城南製作所
(株)城南九州製作所





世界8カ国12生産拠点、7研究・技術開発・営業拠点を展開



世界6カ国・1地域での提携関係により、当社製品の世界供給体制を構築